

2022年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度		日程		研究科		専攻		科目	
一般		10月日程		文芸学研究科		文芸学専攻文芸学領域		専門科目(歴史学)	
受験番号		氏名						採点	

以下の問一・問二に答えなさい。

問一 以下の史料は庄司勝富『洞房語園』のうち「遊女佐香穂の事」の一部である。

この史料から、遊女佐香穂についてわかることを述べなさい。 ※正保二年は一六四五年

○正保二年の冬霜月の頃か角町並木屋源左衛門といふ者の家に佐香穂といひし局女郎の有しが或夜髪を切て吉原を紛れ出御奉行所朝倉石見守様の御駕につき御訴え申上げるは私年月發心の望候得共奉公の身に候へば心に斗打過候去ながら此度は頻に思ひ立ケ様に髪を切御奉行様を御慈悲を奉願候私主人を御召有無相違暇を呉候様に被仰付被下候へと泣々御訴え申上る依て御番所に被留置主人源左衛門が方へ御召使可被下處に主人は欠落と心得て御帳に記し置可申ため御番所へ罷出る時御番所にて此由被仰聞則御前迄被召出遊女さかほ儀は主人を御渡被遊候間年季の通召仕候共兎角主人がはからひたるべしと被仰付候主人源左衛門申上るは此遊女儀は幼年より召仕候處に平生志の直成女にて常々奉公も能相勤私ためにも成候年季も末壹ヶ年に成候へば差免し候て彼もの望の通に致取らせ可申由申上しかば慈悲を以左様に致候共主人が心次第たるべしとの御意につき佐香穂を伴ひて歸り長谷川町本立寺といふ寺にて望のごとく出家爲致たりさかほ多年の願とは申けれど實は二三年逢馴し客の有しか是は西國方の御大名の御家中なる人と聞へしか年盛りにて果られたるかいま存命の内にさかほか方へ文を贈り記念に金子拾兩添へ文にかつひすひかつきえかへるうたかたの

あわれはかなき身の替りかな

佐香穂が返しに

假そめの世のわかれ路はなにならず

たのしき國のなかきちきりに

と追歌し終に出家を遂たり彼侍は殉死の人なりと後に聞へし此外に今一人佐香穂に馴染し人有かへ名をむらと云ひける小石川すじより通れしが此事を夢にもしらずさかほが出家してより四五日ばかり程返て並木屋が方へ來たりしかくの由を聞大に不興なる躰なりしが早々にして歸り兼てよりさかほが主人と知る人なれば又二三日過て佐香穂か貞心を譽たる長篇を作りて手紙に添並木やか許へ遣し別てはさかほか方へとて是も金子拾兩相贈られたり

【参考】洞房語園（世界大百科事典）

江戸中期の随筆。庄司道恕斎勝富著。一七二〇年（享保五）の自序がある。江戸の吉原遊廓について、遊女の起源や吉原の創設からを詳しく述べた書。吉原について記したもつとも早い解説書として近世以来珍重されている。勝富の祖である庄司甚右衛門が吉原を開設したこと、廓中の各町の名称、遊女勝山、太夫吉田、太夫高尾、散茶女郎の起りなどが記されている。

2022年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度		日程		研究科		専攻		科目	
一般		10月日程		文芸学研究科		文芸学専攻文芸学領域		専門科目(歴史学)	
受験番号				氏名				採点	

問二 以下の史料は山東京伝『九替十年色地獄』(寛政三年・一七九一刊行)の一部である。
これを参考にして、吉原と遊女について考えるとところを述べなさい。



2022年度 共立女子大学大学院 試験解答用紙

選抜制度	一般	日程	10月日程	研究科	文芸学研究科	専攻	文芸学専攻文芸学領域	科目	専門科目(歴史学)
受験番号				氏名				採点	

問

[illegible]

2022年度 共立女子大学大学院 試験解答用紙

		選抜制度	
	受験番号	日程	
		一般	
		10月日程	
		文芸学研究科	研究科
	氏名	文芸学専攻文芸学領域	専攻
		専門科目(歴史学)	科目
採点			

問
二

[illegible]

2022年度 共立女子大学大学院 試験問題

No. 1

選抜制度	日 程	研究科	専 攻	科 目	
一般	10月日程	文芸学研究科	文芸学専攻	小論文	
受験番号		氏 名			採 点

学部での学びを通じて得られた成果を、文芸学研究科文芸学領域での研究において、どのように発展・展開させようとするのか、そのための取り組みについて具体的に述べなさい。

[illegible]